

文部科学省委託事業 新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業 令和3年度 東京大学教育学部附属中等教育学校 「新しい時代の学びの環境整備」に向けた本校舎大規模改修 成果報告書概要

検討の経緯

東京大学教育学部附属中等教育学校では本校舎が間もなく築40年を迎える。この間、卒業研究に結実する中高6か年の総合的学習のカリキュラム開発と実践に多大な成果をあげ、近年の「探究的学習」に先鞭をつけるとともに、教科学習においても生徒同士の間から生まれる「協働的学習」で高い評価を得てきた。そうした学びのスタイルが Society5.0を迎えICTを積極的に取り入れながら、40年後に想定される建て替えの日に来るまで堂々と継続的に発展させられるような、学習空間のあり方の研究および実現が望まれていた。この想いが文科省事業の趣旨と合致することから、東京大学として応募し、幸運にも採択されることとなり、その結果大規模リノベーションについて本格的な構想が進められることとなったものである。



検討方法及びスケジュール

検討に向けては、附属の現場の先生方、および東京大学を中心とした各分野の専門研究者の先生方、により協議会を立ち上げた。附属学校教職員の実践の積み重ねから生まれた要望に、各々からの最先端の専門的知見が適切なフィット感で惜しみなく注ぎ込まれたことが、大きな成果につながった。このように広範で先端的な知見に基づく未来像がきり結ばれたことは、東京大学の附属らしい形での地に足の着いたリノベーション案への結実を導くと同時に、東京大学と社会をつなぐイノベーションの力も示している。

- ・令和3年10月：三者協議会「できたらいいこんな校舎」
- ・令和3年12月：附属学校内にて中間報告会
- ・令和3年12月：第2回リノベーション委員会
「皆が集まる地域に開かれた学校」
- ・令和4年1月：第3回リノベーション委員会
「総合的な学習が行えるアクティブラーニング空間」
- ・令和4年1月：第4回リノベーション委員会
「2・3回を踏まえた検討、ローリング計画への展望」
- ・令和4年2月：第5回リノベーション委員会
「文科省への答申案の策定」
- ・令和4年2月：第5回委員会での意見に対する改善案

東大附属校における施設整備の在り方・目指す教育

施設整備の在り方

本校では独自の教育カリキュラムが生まれ、教育学部との共同研究ですでに十分な成果を上げており、目指す教育の姿や効果は明快に示されていた。しかし施設はそのための理想的な環境を提供できていなかった。そこで、既存の教育カリキュラムはそのままに、改修により全く新たな学びの空間を再編・創出する大規模リノベーションを構想した。

検討の過程では多くの工夫が必要であったが、上記の教育的姿が皆に共有されていたことが、リノベーション構想の共有に非常に大きな力を発揮した。これは「教育方法の創造」と「教育空間の構想」が表裏一体のものであることを改めて示している。

教育方針（既存カリキュラムを尊重・踏襲）

『探究的・協働的な深い学びを通して豊かな市民性をはぐくむ』



上位計画からの目標

学びそのものの革新によりGIGAスクール構想を先導する



改修の重点ポイント

- 「探究・協働」の活動をふんだんに取り入れる普通教室の整備
- 図書館を核にしたラーニング commons を校舎の中核に据えた探究空間
- 「からだまるごと」で他者・世界とつながる空間UI(ユーザインターフェイス)の導入
- 特別教室の可塑的で効果的な再配置
- 広く市民に開かれたイノベティブ commons として
- 学校空間の完全バリアフリー化

学校の文化・芸術創造拠点化により共生社会・地域を創造する



周辺環境

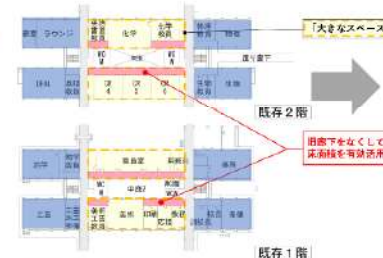


施設規模

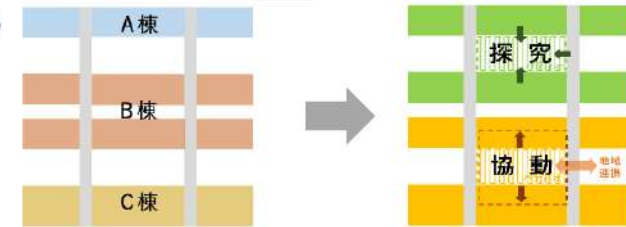
- ・生徒数 6学年 720名
- ・校舎棟 3階建 延床面積8,903㎡
- ・総合教育棟 4階建 延床面積1,806㎡

改修ダイアグラム

「大きなスペース」による床面積の効率化



「A・B・C」から「探究・協働」へ



「commons」による教育空間の組み立て



東大附属校 建築基本計画

探究的・協働的な深い学びを通して豊かな市民性を育む
 東大附属コモンズスクール

- A 学びを深める
 ~「教科学習は文化との出会い」
- B 深めた学びを掛け合わせる
 ~「学びの空間が、学校を変える」

リノベーション計画に当たり、下記の項目について検討を行った。増築を全く行わない改修工事、また仮校舎の無い居ながら工事、という厳しい制約の中で、多様なコモンズを核とした新たな教育空間を創出することができた。

- | | | |
|-----------------------|-------------------|---------------------|
| 1. 校舎ダイアグラムの再構築 | 7. プレゼンテーションコモンズ | 13. 各学年への配慮 |
| 2. 普通教室の検討 | 8. クリエイトラウンジ | 14. ひとりになれるスペース |
| 3. 特別教室の方針→フレキシブル化の検討 | 9. 探究パティオ | 15. 渡り廊下の検討 |
| 4. ラーニングコモンズ | 10. 協働パティオ〜地域との連携 | 16. 協議会でのキーワードの充足状況 |
| 5. 教職員コモンズ | 11. 上履きの扱い | 17. さらなる展開の可能性 |
| 6. ものづくりコモンズ | 12. 中庭の活用 | |

L型普通教室
 豊富な板書面・映写面、多様な机レイアウト、生徒のリフレッシュや交流を可能にした現代的な授業運営のできる普通教室。

- 【縦長に広々見渡せるL型白板】
【映像を投影しながら板書授業】
- 【陽だまりラウンジ】
インフォメーション
リラックス
学年のまより
学年間の交流
- 【多様な机配置の
可能な室形状、面積増】
- 【明るく風通しの良い環境】

クリエイトラウンジ
 各教科への興味を喚起するラポシェルフ+気軽な会話を促す溜りの空間による、コミュニケーション的な回遊空間。

- 【シーソーのラポシェルフ】
特別教室の専門性にじみ出し、興味喚起をはかる
- 【特別教室】
内部が見え活気を伝えるガラスドア
- 【クリエイトラウンジ】
回遊廊下の一部をクリエイトラウンジとして、専門的だが気軽な会話のできる溜りスペースに

教職員コモンズ
 生徒×教職員だけでなく、教職員×教職員のコミュニケーションも誘発し、円滑な日常教育活動に加え附属の新たなカリキュラム創出も触発する、コミュニケーション的なコモンズ。

- 【窓際カウンター】
貴間、プレストに気軽に腰掛け、発想を生むスペース
- 【相談コーナー】
生徒が入ってきやすい明るくオープンな環境
- 【教科コーナー】
棚による間仕切りオープンな環境
機密書類などは総合棟の教職員コモンズで対応
- 【フリーアドレス制】
座席や棚は共用とし、必要スペースの縮減と有効活用

ラーニングコモンズB
 DEAL+放課後コモンズによる協働的な学びの空間。中央部はリラックス空間を授業にも活用できる新たな学びの空間に。両端部は特徴のある教室装備のDEAL室に。

- 【DEAL室】
- 【教職員コモンズ】
- 【クリエイトラウンジ】
- 【放課後コモンズ】
リラックスした環境でありながら、教室としての運用もできる設備を備えた、新たな学びの空間。可動間仕切りを掛ければ学年集会のできる大広間に。
- 【DEAL室】
空間UIを備えた多目的教室。それだけではなく、各室に特徴を付与して、学びを深めることのできる空間に。
- 【クリエイトラウンジ】

